

年間プログラム受講者限定
「石垣島合宿」
ご参加頂いた方からのご感想集

鮎谷先生は内的変化があった時に、ドラクエのレベルアップ音が「ちゃららっちゃっチャー」と鳴るとおっしゃられていましたが、合宿中は私の中でレベルアップ音が鳴りっぱなしでした。

鮎谷先生

いつもお世話になっております。福田です。
石垣島合宿ありがとうございました。

今回の合宿は、今後の私の人生が大きく変わるターニングポイントになりました。鮎谷先生と、合宿に参加されていた皆様と深くお話しさせて頂いた事によって、人生をより多面的に捉えられることが出来ました。

鮎谷先生は内的変化があった時に、ドラクエのレベルアップ音が「ちゃららっちゃっチャー」と鳴るとおっしゃられていましたが、合宿中は私の中でレベルアップ音が鳴りっぱなしでした。

特にお教え頂いた

「自己認識が信念となり行動となる」

は、ドラクエ最強の素材オリハルコンと、加工方法を同時に手に入れたようなもので、人生において、好きなように攻めにも守りにも変化出来る最強の武器を手に入れました。

(※オリハルコンは、加工次第で剣にもなり盾にもなる素材です)

2日目の深夜のお話は、時間が経つにつれ内容が深くなっていき、通常のセミナーでは伺えない、深い人生観を学ばせて頂きました。以前から気になっていた人生観や生き方、学びの学び方などを質問させて頂き、未来に掛かっていた霧が、スッキリと晴れ渡りました。

3日目の朝、皆様の成功の定義を伺っている途中で、「自己認識が信念となり行動となる」により、自分で自分のストーリーも好きなようにプログラミングできる事に気づき、レベルアップ音ではなく、*新しい冒険の始まりを感じました。*ストーリーも、レベルも、武器も好きなようにプログラミングできるのであれば、今後の人生をずっと無敵状態で過ごすことが出来るという事に気づき、生きていてよかったなあという、腹の深いところから喜びが湧き上がってきました。今後の人生が楽しみで仕方がないです。合宿本当にありがとうございました

た。

今回の合宿は間違いなく、今後の人生のターニングポイントです。ぜひともまた次回も行なって頂きたいです。

また年間プログラムでも、自己認識による自縄自縛で身動き取れない時の、枠の外し方もお教え頂けるとの事、非常に楽しみにしております。

今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。本当にありがとうございます。

（福田 耕治 様）

実際にメルマガや話を聞くだけでなく、本当に空いている時間に読書をされている現場を見ることができて、臨場感の高まりを覚えました。

鮎谷さん

今回の石垣島の合宿では、いくつもの本質的な問いを投げかけられ、いつもと違った環境で、思索を深める機会となりました。

多くのアクションリストの作成もしましたので、一つ一つ行っていきます。
また、子供が生まれてからはじめての旅行で、家族にとっても良い機会となりました。

今回の合宿での大きな気づきは、次の2つです。

1.1 対1のコミュニケーションをいかに大切にするか

今回、事前のやり取りでは大塚さんに大変お世話になりました。
直前の変更で家族も同行することになった際に、細かい点まで迅速に丁寧にご対応頂き、感謝しております。

今回「顧客の成功」についてお話頂きましたが、
1対1のコミュニケーションを密度高く積み重ねることが顧客の満足度にいかに直結するかを実感できました。

妻はメルマガを読んだり、音源を聞いていて、鮎谷さんにもっととっつきにくいイメージを持っていたみたいですが、実際に会ってみると、威圧感がなく、物腰が柔らかくて優しい印象を持っておりました。

合宿とは関係ないですが、今回ホテルでお笑いのガレッジセールのお二人と遭遇した際に、
親切に対応して頂き、一緒に写真を撮ってもらいましたが、
改めて直接接した際にどのように対応するかで、顧客の印象がいかに変わるかを考えさせられました。

2.現場を見る

私が家族とラウンジで過ごしていた際に、鮎谷さんが初日、二日目と実際に読書している姿を見ることができたのは貴重な機会となりました。
実際にメルマガや話を聞くだけでなく、本当に空いている時間に読書をさ

れている現場を見れて、臨場感の高まりを覚えました。妻も触発されて早速読書をしていました（笑）

オススメされていた「カスタマーサクセス」を読んで、実際にすぐに顧客に聞いて年間プログラムの改善を行うなど、読書についての考え方から、その実践までを具体的に見せて頂き、読書から行動への伝導率をいかに高めるかがよくわかりました。

引き続き、次回の年間プログラムも、よろしくお願い致します。

（N. Y 様）

非日常の場を身に置きリラックスした状態で観光を楽しんだり、参加者の皆さんと一緒に食事をしたり、また普段では味わえない放談会に参加させていただき、とても有意義な時を過ごすことができました！

鮎谷さま

石垣島合宿では大変お世話になりました。どうもありがとうございました。

非日常の場を身に置きリラックスした状態で観光を楽しんだり、参加者の皆さんと一緒に食事をしたり、また普段では味わえない放談会に参加させていただき、とても有意義な時を過ごすことができました！

飛行機に乗る前に石垣島合宿に参加した目的を思い出していました。

毎回思っていることですが、一回の年間プログラムでは自分の思考にあるバグを見つけて OS のバージョンアップを図っていく目的がありますが、石垣島合宿のご案内をいただいた時に通常の年間プログラムだけではなく、合宿に参加することで通常の年間プログラムでは見ることができない鮎谷さんを拝見することで何かを得られるのではと思ったことと、鮎谷さんを始め、参加者のみなさんと交流を深めることができるのではないかと考えていました。

緊張と弛緩の中での3日間。想像以上の気づきを得ることができました。放談会では通常の年間プログラム同様に石垣島でもたくさんの気づきや学びをいただきまして、それだけでも十二分に価値はありますが(メモをぎっしり書いていましてアクションリストの欄が増えました)、鮎谷さんや参加者のみなさまとお話をさせていただけたことが非常によかったと思っています。

「年間プログラム」についていろいろとお伺いすることができましたし(そのお話の中でバグが見つかりました。)また失礼ながらも年間プログラムについて意見を述べさせていただきました。

鮎谷さんがよくおっしゃられますが

「降りてきた！」

という時の放談会は私の中では非常に面白く今でも心に残っていて、自己を奮起させるパワーをいただいていますので、それが「病みつき」になっていること

に気がつき鮎谷さんの放談がとても楽しみなんだと思いました。

二日目の夜は「降りてきた！」放談でしたので非常によかったです。何故かしベルアップの音ドラゴンクエストの曲が頭の中に残っています。（最後まで残りたかったのですが日頃の疲れがでましたので断念しました）

「カスタマーサクセス」の本のお話から、最終日に年間プログラムの大成功とは？とお話がありましたがその場では話をまとめることができなくて発言はしませんでした。私は「人生の軌道修正」だと思いました。

今回の合宿におきましても OS の低さを改めて痛感しました。また行動量が全然伴っていないことも改めて理解しました。鮎谷さんや参加者のみなさまのお話から自分の現在位置を知ることによって自分が足りないは何か？を考え、また自分の思考グセのまずさを理解することによって年間プログラムの場の力をお借りして軌道修正してくださっていると考えています。

そして1か月を過ごして年間プログラムに行き新しい気づきや刺激をよって自問自答をしながら人生のよりよい道に歩いていけるように修正をかけていけることが私にとって年間プログラムの大成功なんだと思います。

鮎谷さん（をはじめ参加者のみなさま）は私にとって心強い良き先導者だと思っています。

また参加者のみなさんと観光をしながらも私が発想できないビジネスのアイデアをいただきましたし、石垣島は初めてでしたがずっと海を眺めているだけの贅沢な時間がとても忘れられませんでした。

「緊張と弛緩」

通常は仕事や家事に追われっぱなしの生活ですが非日常な空間に身を置き心身共に解放させることの大切さを教えていただいた気がします。合宿に参加することができたことは私にとっておそらくターニングポイントになったのではと思います。さらにプライスレスな価値をいただいて帰ることができました。（頑張って休暇を取った甲斐がありました！）

石垣島合宿はとても最高でした！

石垣島合宿でたくさんいただいたことを思い出して今後の目標に向かって走りだしていきます！！

鮎谷さん心より感謝します。
今後とも何卒よろしくお願いします。
追伸今後、年間プログラムでは発言していきます！

（湯目 桂子 様）

石垣島合宿では鮎谷さんのみならず、他の受講生の方の日常の姿（の一部）を拝見することが出来、私にはとても大きな刺激となりました。

石垣島合宿では大変お世話になりありがとうございました。

放談会の後、皆で食卓を囲んだり観光したり、くつろいだりといった時間がありましたが、それが大変よかった、と思っています。

放談会は質疑応答の機会があるとはいえ日本の授業方式に慣れ親しんだ私にとっては一方向の知の流れ的な部分がどうしても色濃くなります。普段の放談会や年間プログラムではそのとき感じた違和感や混乱は日々の生活の中で、なんとなく沈殿してしまうこともあるのですが、今回はその混乱を抱えたままの状態で皆さんと時間を過ごすことにより沈みかけた異物がまた巻き上がって自問自答を促したり、受講生の方の言葉が放談会後の私のざわざわした心の中にすっと飛び込んできて、ふわふわしていた状態だったものをガシッと地面に引きずり戻されたり、といった経験をしました。

鮎谷さんはいきものがかりを聞いて歩くというお話をメルマガの中でしておられましたが、まさに、食事の時間や自由時間が私にとってはその歩く時間だったんじゃないかと感じています。

また、非日常の世界にいたことも混乱の持続や自問自答を助長する手助けになっていたように思います。視覚や距離がヒトに与える影響の大きさをしみじみ感じました。

合宿や年間プログラムに来られている方々は鮎谷さんに惹きつけられて集まった方々でその点では共通点がありますが、そのバックグラウンドや、将来に対するビジョンの違いから必ずしも同じような考え方や見方をなせる訳ではありません。普段なら意見を異にし、交わる機会がない方々もいらっしやるのだらうと思っています。そういった方々との対話が自分の中の混乱を鎮めてくれたり力強く加速させてくれたりした、というのは大変興味深いことだな、と思いました。

Sさんが鮎谷さんの日常の姿を見せてくださるのが年間プログラムの醍醐味である、というようなことをおっしゃっておられましたが、石垣島合宿では鮎谷さんのみならず、他の受講生の方の日常の姿（の一部）を拝見することが出来、私にはとても大きな刺激となりました。

また二日目の夜は大変遅くまでの放談会でしたが、いつもよりパンチの効いた鮎谷さんの言葉の数々が心に突き刺さりました。時に（普段よりは）辛辣な文言が飛び交いましたがそのことで感情がゆすぶられ海馬にストレートに言葉が飛びこんできて結果、覚醒されてしまい、部屋に戻っても眠いのには眠れず少々苦勞しましたが楽しい経験でした。

「カスタマーサクセス」を読まれてその内容を身体知化し実際の現場へ落とし込むリアルな場を目にすることが出来、本当に贅沢な時間だったと思っています。しつこく、しつこくこだわっておられる姿を拝見し、背筋が伸びる思いがしました。

どうもありがとうございました。

（C. T 様）

年間プログラムの価値として横のつながりができる部分も非常に大きいものだと感じていますが、今回の合宿では横のつながりがかなり強められました。

鮎谷様、セカンドステージの皆様

この度は石垣島合宿に参加させて頂きましてありがとうございました。

鮎谷さんにお話頂いた内容としては、

- ・自己認識の重要性
- ・偉大なるマンネリを見つける必要性
- ・目の前の人の期待値を超え続けること
- ・「率先して汗をかき、手柄は人に渡す」
- ・集中と弛緩のバランス
- ・ロコミの重要性
- ・参照点作り
- ・無意識の行動支配

といったことが印象に残り、自分のものにしていきたいと感じました。

しかし、それ以上にこのような合宿の場を設けて頂いたこと自体が非常に大きな価値であると感じました。それというのも他の受講生の方とじっくりお話をする機会ができ、お互いを良く知る機会になったのに加え、お話する場面が単なる飲み会ではなく、鮎谷さんのお話に触発された状態でしたので、期せずして学びを自分に定着させるアウトプットになっていたのではないかと思われました。

年間プログラムの価値として横のつながりができる部分も非常に大きいものだと感じていますが、今回の合宿では横のつながりがかなり強められました。

また、個人的には沖縄に来たのが初めてでしたので、沖縄の風土や現地の方に触れ、普段の生活とは異なる感覚を味わえたのも大きな学びだと考えています。学んだことを単に他の方に伝えるよりも、枕詞に「石垣島で学んできた」と付け加えることができてストーリーにできるのも大きいことだと感じています。

今回の合宿企画は大満足でしたので、今後も何らかの形でこのようなことを継続して頂ければと思います。

引き続き宜しくお願い申し上げます。

（アンサーズ法律事務所 弁護士 荒木 俊和 様）

特に深い学びを得たのは、やはり「時間を天引きしてしまう」、「緊張と弛緩」上手に活用する」という鮎谷さんのライフスタイルでした。
その意義も身をもって体感できました。

大塚様

お世話になっております。

改めまして、石垣島合宿有難うございました！

学びに関しては、日々ブログに書かせて頂きました。

特に深い学びを得たのは、やはり「時間を天引きしてしまう」、「緊張と弛緩」上手に活用する」という鮎谷さんのライフスタイルでした。
その意義も身をもって体感できました。

【キーワード】

- ・ 詰め込みと解放
- ・ 緊張と弛緩
- ・ 偉大なるマンネリ／黄金の 1 パターン（古典落語・ドラえもん）
- ・ 温故知新／不易流行
- ・ 無私=お客様の期待を圧倒的に超える価値を提供することだけを考える
- ・ 原理原則を大切に
- ・ 極端な言葉（で自分を躰ける）

（中田 雅之 様）

タイムマネジメントについての知識はあっても、具体的な姿はまさに、百聞は一見に如かず、でした。

合宿中の鮎谷氏の放談ならびに Q&A については、大変に参考になり、参考にするだけでなく、「気づき発、即断経由、アクション行き」を心掛けたいと思います。

加えて、実はもっとも印象に残っているのは、石垣島空港で偶然見かけた、鮎谷氏が昼食をとりながら本を読まれている姿でした。ここまでして、時間を作っているのか！という驚きとそれを行動に移している生の姿が実は一番記憶に残っています。

後の放談会で、「字がないとごはんが食べられない」と鮎谷氏が種明かしされてましたが、同時に歩きながら本も読まれている（歩きスマホならぬ歩き本？）ことも知りました。

タイムマネジメントについての知識はあっても、具体的な姿はまさに、百聞は一見に如かず、でした。

（K. M 様）

今回の合宿では、今後の行動を変える大きな気づきがありました。

鮎谷さん

このたびは貴重な機会をありがとうございました。

今回の合宿では、今後の行動を変える大きな気づきがありました。

いずれも理解したつもりで、体得していなかったことばかりです。

まずは、“意図的に「現場」（＝普段いる場所）から離れることがいかに重要であるか”です。

石垣島という非日常の場所に身を置くことによって、まず「気持ち」が変わりました。ここ数か月、何が原因というわけではなくイライラを感じるが多かったですが、石垣島に到着した瞬間に、それまでの気持ちがうそのように、軽くなりました。

そのせいか、いつもと「同じこと」を行っていても、気づくこと、感じる事が全く違いました。今回、放談以外の時間は、読書と勉強にあてていました。同じ本を読んでいても、これまでまったく気づかなかったことに気づき、より深く筆者の意図が理解できたように感じました。また、勉強をしていても、「なるほど」と思えることばかりで、一挙に理解が深まりました。おそらく、それは、「現場」から離れ、出来ることが制限されることで、違う視点で物事を考えるスイッチが入ったからではないかと思います。

その瞬間に感じたのが、「普段、いかに自分の考え、行動が様々なものに制限されているか」ということです。その結果、（比喩的な意味で）「何となくやらされている」時間が多く、それがイライラを感じさせることにつながっていたのではないかと思います。

自分の意識でありながら、自分ではコントロールできないことを痛感しました。だからこそ、「場所」の力を借りて、自分の意識をコントロールすることが重要であることを強く実感しました。

つぎは、“商売とは何か”を深く考えさせられました。鮎谷さんの相談会のエピソードのなかで、

「売れたらいいなと思って相談会をやってみたが、いざお客様と向き合うと、商

売・サービスという考えをきれいに忘れてしまう。結果、1時間という枠を大幅に超過してしまった」

というお話がありました。「商品・サービスを提供している」という意識で、お客さまと向き合うことが多い世の中で、「無私に、お客さまに対する誠心誠意の関心」を示される鮎谷さんの存在は「あらゆる人にとって救い」なのではないか、だからこそ、「買わずにおれなくなる」のだと感じました。

「こうした存在に自社、あるいは自分自身はなろうとしているのか」を深く考えさせられました。ドロッカーも外部の成果を常に意識せよと言っていますが、知らないうちに、内部の問題に意識が向かいがちな自分に気づかされるとともに、「外部の成果が全てである」という原理原則を忘れてはならないと、深く考えさせられました。

そして、つぎは、“本能を疑う”ということです。

「本能のおもむくままに行動していて、うまく行くのであれば、世の中のすべての人がうまく行っているはず」

という鮎谷さんの言葉にあらためてハッとしました。人は太古の昔のままであり、どうにかエネルギーを消費しないようにするのが本能であるという話をよく聞きます。本能のままに行動する＝自分に負荷がかからないように楽な選択をするということに他なりません。逆に言えば、楽をしないということは、人の生き物としての本能に逆らうこと意味します。残念ながら、「本能に常に打ち勝つ克己心」を、私は持ち合わせていません。そうした私が本能に打つ勝つためには何が必要なのかを考えてみると、次の2つではないかと感じました。

一つは、「今のままではダメだ」ということを感じる機会を持ち続けること。そしてもう一つが、そうした機会を強制的に持つことです。今回の合宿で、鮎谷さんを筆頭に、参加されている皆さんが「さらに成長しようとしている」という姿を目の当たりにしました。そうした姿を見て、あらためて「このままではいけない」ということを強烈に感じました。

「感情が大きく揺さぶられる」、これが「年間プログラム」の大きな価値の一つではないかと思います。石垣島という場所の力もあり、いつも以上に強烈に感じました。

その他、今後の行動の指針になるお話をたくさんいただきました。
忘れてしまうこともあると思いますが、「石垣島」というアンカーがあるの

で、すぐに思い出すことができると思います。

あらためて貴重な機会をありがとうございました。

これからも引き続き、よろしくお願いいたします。

(S. K 様)

今後も「石垣島合宿」のように
年間プログラムを受講されている方限定の企画を
継続して開催する予定です。

あなた様の

「年間プログラム」

へのお申し込みをお待ちしております。

■お申し込みはこちらから↓■

<https://eipo.jp/2nd-stage/seminars/view/21>